

## 節電のご協力をお願い

九電グループは供給面・需要面での対策を進めてまいりますが、お客さまにおかれましても、**熱中症予防などに留意しつつ、支障のない範囲でできる限りの節電にご協力いただきますようお願い申し上げます。**

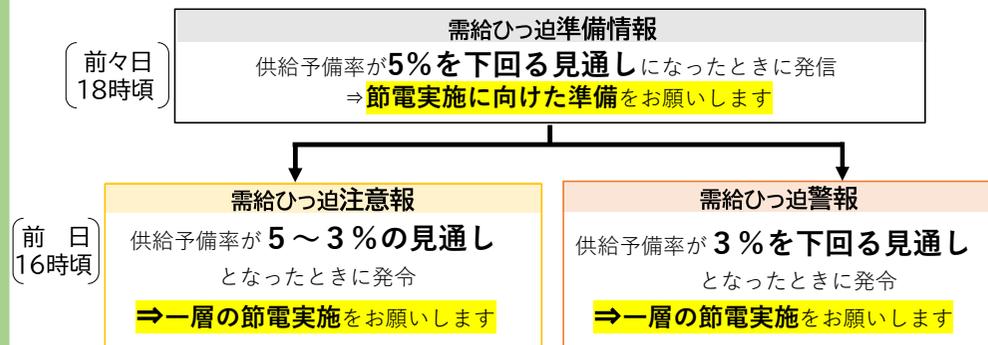
〔節電をお願いしたい期間・時間帯(政府要請)〕

**7月1日～9月30日**

(特に)17時～20時頃 ※太陽光の出力が減少し、需給が厳しくなる傾向にある点灯帯

## 需給ひっ迫時のお知らせ

電力の需給が厳しくなった場合は、前々日に九州電力送配電から「需給ひっ迫準備情報」が発信され、前日に国から「需給ひっ迫の注意報や警報」が発令されます。それぞれ、九電グループとして、記者発表やHP・SNS等でお知らせしますので、ご協力をお願いいたします。



## 具体的な節電方法の例

【ご家庭】		
	エアコン	設定温度を26→28℃に カーテンやすだれなどで日差しを和らげる フィルターの清掃は2週間に1回
	照明	不要な照明を消す。明るさを下げる
	冷蔵庫	設定を強→中、開閉時間は短く
	テレビ	省エネモードに設定。画面の輝度を下げる
【オフィス】		
	照明	間引きする
	ネオンサイン	消灯する
	エレベーター	一部停止する
	OA機器	使用を少なくする

その他の節電方法についてはこちらをご覧ください

【ご家庭】 電気事業連合会 省エネ・節電お役立ち情報  
<https://www.fepec.or.jp/sp/powersaving>

【オフィス】 九州電力ホームページ  
[https://www.kyuden.co.jp/business\\_esco\\_index.html](https://www.kyuden.co.jp/business_esco_index.html)



# 今夏の電力需給見通しと 節電ご協力をお願い

～熱中症予防などに留意しつつ、支障のない範囲でできる限りの節電にご協力いただきますようお願い申し上げます～

## 今夏の気候(日本気象協会)

- 九州では全国同様に**平均気温は平年並みか高い**見通し
- 九州では、**平年より大幅に早く梅雨明け**

## 電力需要状況

- 東日本大震災以降、徹底した節電へのご協力により、大きく減少していた電力需要がここ数年は増加傾向にあり、**一昨年と昨年は連続で、10年に一度の猛暑を想定した最大の電力需要を、全国の複数のエリアで上回った**
- 今夏も、既に**東京エリアを中心とした東日本で厳しい需給状況となった日が発生**  
(6月27日:国が、東京エリアで電力需給ひっ迫注意報を発令 等)

## ウクライナ情勢等の影響

- ロシアのウクライナ侵攻により、各国が燃料調達先をロシアから他の国へ切り替えた結果、調達競争が激化し、必要な量を確保することが難しくなった。  
特に、**LNG(液化天然ガス)については、燃料調達がかつてないほど厳しい状況**

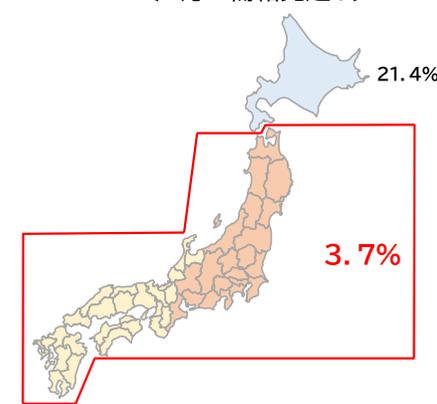
## 2022年度夏季の電力需給見通し(資源エネルギー庁)

- 10年に1度の猛暑を想定した場合でも、電力の安定供給に最低限必要とされる**供給予備率3%はなんとか確保**できるものの、**7月は北海道・沖縄を除く全国で、供給予備率3.7%と厳しい見通し**

[今夏の供給予備率(見通し)]\*

エリア	7月	8月	9月
北海道	21.4%	12.5%	23.3%
東北	3.7%	5.7%	6.2%
東京			6.4%
中部			
北陸			
関西			
中国			
四国			
九州			
沖縄	28.2%	22.3%	19.7%

[7月の需給見通し]



※10年に1度の猛暑を想定した場合の数値

### ▶ 供給予備率とは

電力需要が最も高くなった時に、どのくらい供給力に余裕があるかを示す値。電力を安定して供給するためには、**供給予備率3%が最低限必要**とされています。

$$〔計算式〕 \text{供給予備率}(\%) = \frac{\text{供給予備力} (\text{供給力} - \text{予想最大電力})}{\text{予想最大電力}} \times 100$$

## 九電グループは電力の需要面・供給面での対策を進めてまいります

### 需要面の対策

- ▶ 一般家庭、法人お客さま向けに**省エネ手法を紹介、生活に支障をきたさない範囲で節電を呼びかけ**
- ▶ DR(デマンドレスポンス※)アプリ等を活用した節電の呼びかけ

※ 電力の需要者側で、ピーク時の電力使用をコントロールすること(電力使用が多いと予想される時間帯において使用を控え、別の時間にご使用いただく など)

### 供給面の対策

- ▶ 計画停止を行う予定だった**苅田新1号機(石炭火力)を稼働**
- ▶ **原子力発電所の定期検査の時期を調整し、夏の間、3基稼働**
- ▶ 発電所のトラブル防止に向け、**点検補修の適切な実施やパトロールを強化**
- ▶ 電力需要が急増したときにも対応できるよう、**燃料の備蓄等を上積み**